

編集後記

第4号の発行は今迄より大分楽でした。というのは、最初病院に関する雑誌を作ろうではないかと話がまとまつた事と、創刊号を7月に出すと定めた事が同時であつたので、今迄ずっとその無理がたゞつていた。然し4号の編集は、この時間的な追いつきがちまつた事に加えて、仕事はやや型にはまつて運び出した事で大變順調になつて來た。更にいわなければならない事は、優秀な原稿がドシドシ集まつて來た事です。3号迄は、お氣付のように、概論的な原稿が多かつたのが、いよいよ各論的な問題がどしどし取上げられて來たので、雑誌の内容に大分体裁が整い出したというべきでしょう。丁度、解剖学から始まつて、基礎医学の全般に目を通すようになり、更に臨床の方面に迄発展して來たようです。病院といえは、その取扱う対象が複雑多岐極まるものであるから、今後この雑誌の内容も益々複雑とならざるを得ない。そうなれば、今の様な編集の方法で追いつかなくなるでしょう。当然分類をシツカリやらねば混雜した内容になつてしまうから「病院」管理人は、一層勉強しなければなりません。

幸い、各方面の御關心が高まつて來て、最初に意圖したこの雑誌の方向も漸次固まつて來て、読者各位の御要望に愈々沿つて行けるものと信じます。御忠告御要望をドシドシおよせ願ひ度い。

編集委員の橋本先生は、9月5日プレジデント

クリブランド号で渡米されました。病院管理の視察を御旅行目的の一にしておられますから、必ず新しい知見を誌上に御発表願えることと思ひます。御期待下さい。同じく千種先生は、東北医務出張所長に就任され、且つ中央医療機關整備委員会の委員として、9月28日の第一回の會議から御活躍になるので、この方面の問題についても、社会保障制度の確立について御論説が期待される。各地の病院協会の結成、病院管理研修所の秋の開講等、病院問題は愈々研究と実践の上で、いろいろな花が咲いて行くものと思ひます。病院問題に關する唯一の雑誌である当誌が、各方面に利用され、國民医療の爲、又ひいては世界の公衆衛生の爲に貢献することを信じ度いと思ひます。

本号から質疑應答欄を設けましたから、こと病院に關する問題は大小に不拘御提出下さいませれば、お互の研究の利益になると思ひますから、本稿の寄稿は勿論、この欄についても、御關心を賜り度い。われわれの生活は現在決して樂なものではありませんが、一步一步、平和な、文化的な國が出來て行きつつあるように思ひます現在、この10月も有意義な月に終らせ度いものです。(編者)

編集委員

橋本 寛敏(聖ルカ病院) 尾村 偉久(厚生省)
吉田 幸雄(厚生省) 守屋 博(東京第一病院)
千種 峯藏(厚生省) 木下 正一
久松榮一郎

病院 (第1巻第4号)

昭和24年9月25日印刷
昭和24年10月1日発行

學 術 書 院

発行所
東京都文京区駒込林町 172
電話 駒込(82) 0714

定價80圓 丁5圓 概算前金 500圓
一年特價 1000圓
編集兼
発行兼印刷人 久松榮一郎